差し替え資料 【資料 2 】関係

# 【まちづくりの基本方向】 1-5 中心市街地のにぎわい創出

#### 【計画目標】

- ①米子駅周辺エリアのにぎわいの創出を図ります。
- ②角盤町エリアのにぎわいの創出を図ります。
- ③「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指します。

#### 【現状と課題】

本市の中心市街地は、長い歴史のなかで行政、経済、文化、教育、医療、福祉、娯楽等、様々な都市機能が高度に集積されるとともに、道路、鉄道等の交通網も中心市街地を起点に整備され、地域における社会経済活動や文化・市民活動等の中心としての役割を果たしてきました。しかしながら、宅地開発による市街地の拡散や車社会の進展などによる商業施設の郊外立地、消費行動の変化などにより、居住人口の減少や空き店舗の増加など中心市街地の空洞化が進んでいます。

中心市街地のにぎわいを取り戻すためには、これまでの中心市街地活性化の取組はもとより、まちなかの魅力を高め、誰もが歩きたくなるという視点で官民が連携してまちづくりを進める必要があります。

## 【主な取組】

- ①米子駅周辺エリアの活性化
- ・米子駅周辺エリアのまちづくりの推進
- ・空き店舗への新規出店者に対する支援
- ②角盤町エリアの活性化
- ・空き店舗への新規出店者に対する支援
- ・地ビールフェスタ、マルシェ等イベント開催への支援
- ③「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成
- ・ウォーカブル推進都市の検討
- ・「中海・錦海かわまち計画」に基づくまちづくりの推進

### 【関連計画】

米子市中心市街地活性化基本計画

※<u>ウォーカブル推進都市</u>: まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変する取組